

資源の完全循環へ向けたトヨタ自動車の取り組み
「Geological Design (ジオロジカルデザイン)」
日本最大級のデザイン&アートフェスティバル
「DESIGNART TOKYO 2024」に出展

ガラスを通じて「クルマの記憶」を辿る空間展示を
10月18日～21日 表参道のギャラリー「seen」地下1階で開催

トヨタ自動車株式会社（以下「トヨタ」）は、社内の構造デザインスタジオが取り組む、環境負荷低減と資源の完全循環へ向けた活動「Geological Design (ジオロジカルデザイン)」が、日本最大級のデザイン&アートフェスティバル「DESIGNART TOKYO 2024」にて「クルマの記憶：ガラスによる素材の変容と情景」と題した展示を開催することをお知らせします。10月18日から21日にかけて、表参道のギャラリー「seen」地下1階（東京都渋谷区）にて、リサイクルが進んでいない自動車由来のガラスに着目し、ガラスを通じて「クルマの記憶」を辿る空間展示を行います。



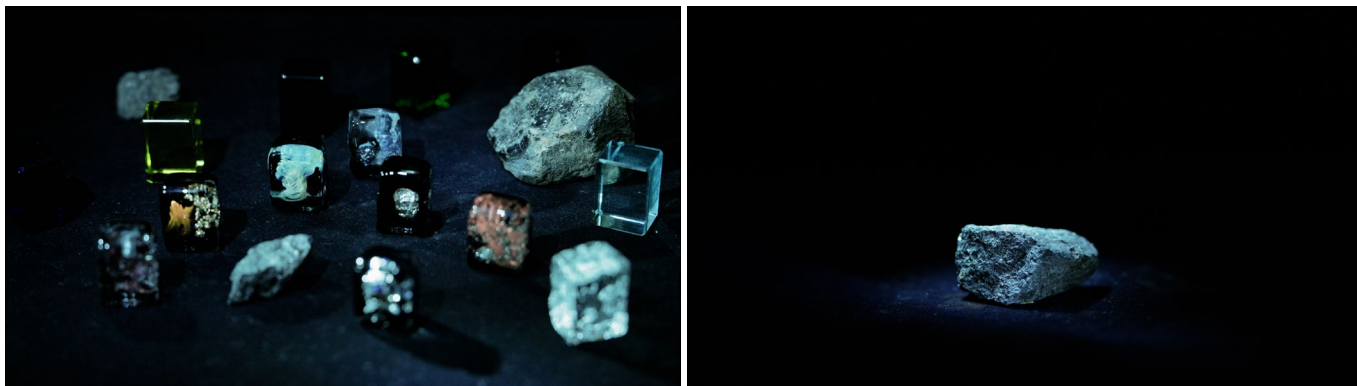
構造デザインスタジオでは、大学考一テーマプロデューサーを中心に、従来のクルマづくりの軸である経済軸（安くて作りやすい）、技術軸（軽くて高性能）という2つの価値観に、環境軸（地球環境から考える）という概念を追加することで「捨てるところがないモノづくり」の実現を目指しています。そのために、クルマづくりだけでなく、その終わり方（廃棄）まで考え、さらには素材選びから考えなおす。そしてリサイクルでクルマに戻すことのできない廃材については、自治体や地域の工芸家、アーティストと共創することで付加価値をつけアップサイクルする「次の命づくり」に取り組んでおり、これらの考え方を「Geological Design」と称して活動しています。

この度、本活動をより多くの方にお伝えするために「DESIGNART TOKYO2024」への出展を決定しました。

アートに用いたのは、すべてクルマに使われている材料、別の言い方をすればすべて廃材になってしまう材料です。実はほとんどリサイクルされていないガラスや、多様な金属、そしてリサイクルやアップサイクルの過程で必ず残されてしまう残渣物であるスラグなどです。

本展示ではガラスの特性を通じて素材の本質を理解していただくとともに、ガラスの中にクルマの素材を閉じ込めることで、素材の多面的な変容を表現します。それにより作品たちを通して、その不思議な情景を「クルマの記憶」として垣間見ることができます。

展示作品は全て様々な角度で近くから御覧いただけるとともに、一部作品は触ることも可能です。



左：アート作品の一部 右：残渣物であるスラグ

【開催概要】

展示期間：2024年10月18日（金）～10月21日（月）

開館時間：11:00～20:00（最終日21日（月）は17:00まで）

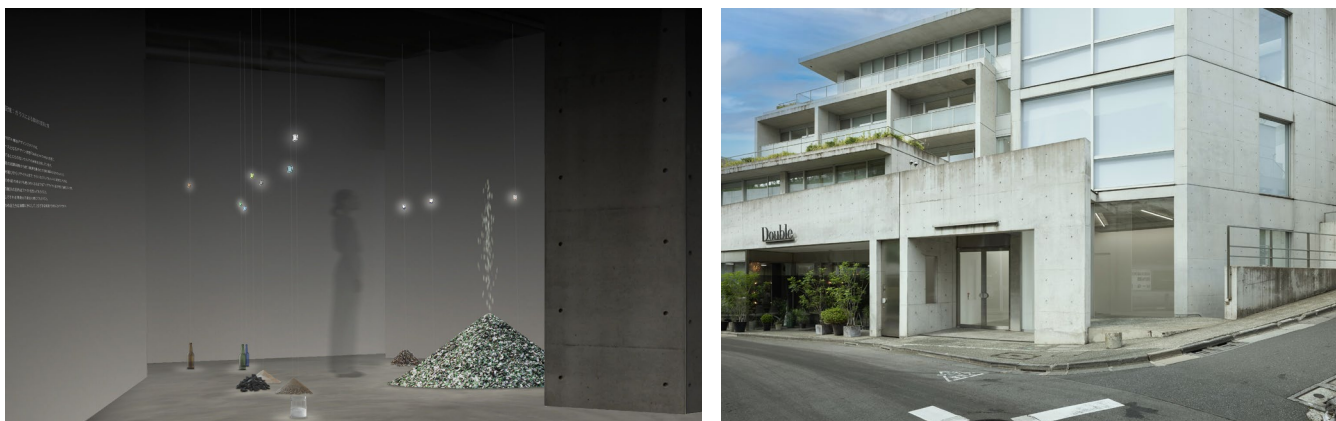
会場：seen 地下1階（住所：東京都渋谷区神宮前4-13-12）

展示名：「クルマの記憶：ガラスによる素材の変容と情景」

入場料：無料・申し込み不要

特設サイト：<https://designart.jp/designarttokyo2024/exhibitions/7841/>

※展示内容は変更の可能性があります。



左：展示会場イメージ 右：展示会場である「seen」外観

【DESIGNART TOKYO について】

DESIGNART TOKYO は「INTO THE EMOTIONS ～感動の入口～」をコンセプトに、2017年にスタートしたデザイン&アートフェスティバルです。世界屈指のミックスカルチャー都市である東京を舞台に、世界中からインテリア、アート、ファッション、テクノロジー、フードなど、多彩なジャンルをリードする才能が集結し、都内各所で多彩な展示を開催します。

<https://designart.jp/designarttokyo2024/>

[instagram.com/DESIGNART_TOKYO](https://www.instagram.com/DESIGNART_TOKYO)

x.com/DESIGNART_TOKYO

[facebook.com/designart.jp](https://www.facebook.com/designart.jp)
